

1 事業概要

		課名	子育て支援課	事業No.	109
事務事業名		地域療育事業	会計	一般会計	
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H11	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			地域福祉計画	
	法令・例規等			児童福祉法 障がい者総合支援法	
事業目的		対象	飯田、下伊那に住む障がい児		
		意図	障がい児や保護者の抱える、障がいや発達の遅れなど固有の問題や悩みを軽減します。		

2 事業内容

29年度取組	取組内容	経費の内容				事業費(千円)									
	障がいを疑われることも及び発達の遅れなどの悩みを抱えた家庭への早期対応が出来ました。また現場へ出向き日々の生活の中で活かす発達支援について具体的な支援方法を現場職員と共有できました。 早期発達支援グループの支援内容の充実と外来相談体制の見直し・連携の在り方を検討しました。 外部機関に出向き、直接支援・連携を密にしました。地域療育事業の役割や相談の在り方・成果の振り返りを行い実践しました。 必要な関係機関と細やかに連携し、スムーズな支援のつながりが構築できつつあります。	<table border="1"> <tr><td>専門職員賃金</td><td>12,431</td></tr> <tr><td>心理相談員報酬</td><td>535</td></tr> <tr><td>感覚統合訓練謝礼</td><td>720</td></tr> <tr><td>専門職員旅費</td><td>645</td></tr> <tr><td>その他の経費</td><td>573</td></tr> </table>	専門職員賃金	12,431	心理相談員報酬	535	感覚統合訓練謝礼	720	専門職員旅費	645	その他の経費	573			
専門職員賃金	12,431														
心理相談員報酬	535														
感覚統合訓練謝礼	720														
専門職員旅費	645														
その他の経費	573														
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績								
	外来相談利用者数	人	673	511											
	外来相談利用延べ人数	人	3,003	2,961											
	保育園・幼稚園・学校等訪問回数	回	104	69											
	〃 利用延べ人数	人	507	347											
	早期療育グループ等実施回数	回	77	74											
	〃 利用延べ人数	人	513	386											
29年度決算 (千円)	予算額	17,389	特定財源内訳及び補足事項												
	決算額	14,904	(県) 地域療育等支援事業委託金 (10/10) 3,932千円 (そ) 諸収入 5,247千円												
	財源の 状況	国庫支出金	0												
		県支出金	3,921												
		地方債	0												
その他		5,247													
一般財源	5,736														

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	3	2	4	12	1	17,389	14,904	地域療育事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		発達の節目で起こる諸問題について、家庭にとって身近な専門機関として対応できましたが、継続した支援の在り方、学齢期以降のフォローのあり方に課題が残りました。療育現場の経験を積み重ねたより専門性の高い職員を確保する必要性を感じました。							
上記の課題解決のための有効策		専門性の高い職員を確保したいと思います。 途切れない発達支援について、教育現場の職員及び子ども家庭応援センター・医療の現場等と相談体制・家庭支援の在り方についてより密な連携をとっていくことが必要であると思います。							
次年度に向けての取り組み		療育現場の経験を積んだより専門性の高い職員の確保を図り、早期発達支援グループの充実と外来相談体制の見直し・連携の取り方を考え合い実践したいと思います。また、外部機関に数多く出向き、連携をさらに密にします。							